

広島市地域公共交通利便増進実施計画の認定申請による 電車運賃の改定について

本日2022年9月6日、広島電鉄株式会社（本社：広島市中区）の電車運賃の改定を含めた、「広島市地域公共交通利便増進実施計画」の認定について、広島市より国土交通大臣あてに申請されました。

認定申請による電車運賃の改定の内容は、以下のとおりです。

なお、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第27条の19により、計画の認定を受けたときは、軌道事業の旅客運賃の変更について、軌道法第11条第1項による認可を受けたものとみなされます。

1. 電車運賃の改定内容

(1) 電車運賃の改定理由

当社は、広電西広島から広電宮島口の宮島線（鉄道区間）16.1 kmと、広島市内を運行する市内線（軌道区間）19.0 kmを合わせた計35.1 kmを営業しており、広島市内中心部及び廿日市市方面への通勤・通学、並びに宮島への観光等の輸送を担っています。

広島市中心部では、主要7社の路線バスと軌道系公共交通である電車（路面電車）を骨格に、面的な公共交通ネットワークが形成されています。このため、広島市地域公共交通計画に目標として掲げる『利用者にとってわかりやすく使いやすい持続可能な公共交通体系の構築』を目指す上では、路線バスと電車を一体的に考えた路線網や運賃、サービスを実現し、将来にわたって公共交通ネットワークを維持していく必要があります。

一方、人口減少や少子高齢化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公共交通全体の利用者が著しく減少しており、全車両への定期的な車内消毒、雨天時においても常時窓開けが出来るようスリット板の設置、運転台及び車掌台への飛沫飛散防止フィルムの設置、新型コロナウイルスの職域接種実施等、お客様や従業員の罹患防止への取り組みを徹底して実施しておりますが、依然として交通事業者は厳しい経営状況下に置かれています。さらに、新型コロナウイルスが収束したとしても、利用者が以前の水準に戻ることは考えにくく、将来にわたって公共交通を維持していくことが困難な状況に直面しています。

こうしたことから、事業者や交通モードの枠を超えた『路線バス・電車共通のサービス』を実現し、デルタ内における移動の利便性向上を図るものです。また、収支改善による経営基盤の強化とバリアフリー化の推進を図り、『利用者にとってわかりやすく使いやすい持続可能な公共交通体系の構築』に繋げるため、広島市地域公共交通利便増進実施計画に基づき電車運賃を改定するものです。

(2) 電車運賃の改定概要

【軌道】

・普通旅客運賃

本線・白島線 現行運賃の30円値上げ

・定期旅客運賃割引率

本線 通勤定期：37%引(現行どおり)、通学定期：53%引(現行どおり)

白島線 通勤定期：34%引(現行どおり)、通学定期：51%引(現行どおり)

【鉄道】

※鉄道については、変更ありません。

(3) 実施予定日

2022年11月1日(予定)

(4) 改定率

		改定率	
普通旅客運賃	本線	15.8%	
	白島線	23.1%	
定期旅客運賃 (大人1ヶ月)	本線	通勤	15.7%
		通学	15.9%
	白島線	通勤	23.1%
		通学	23.0%

(5) 申請・現行運賃比較表

【軌道】

普通旅客運賃(大人)

	現行	申請
本線(白島線以外の区間)	190円	220円
白島線	130円	160円

※PASPY利用の場合、本線20円引き、白島線10円引きとする予定。

定期旅客運賃(大人1ヶ月)

		現行	申請
本線(白島線以外の区間)	通勤	7,190円	8,320円
	通学	5,360円	6,210円
白島線	通勤	5,150円	6,340円
	通学	3,830円	4,710円

【鉄道】

※鉄道については、変更ありません。

【貸切運賃】

普通旅客運賃の変更に合わせて、軌道区間の貸切運賃につきまして変更を予定しており、中国運輸局へ本日付で上限運賃変更認可申請をしております。

貸切旅客運賃

	現行	申請
本線・白島線(単車)	18,240円	21,120円

(6) 連絡運賃変更

国土交通大臣認可後、鉄軌道連絡割引につきまして中国運輸局への届出を予定しております。割引適用後の連絡運賃は、以下のとおりです。

【連絡】

普通旅客運賃(大人)

	現行	申請
軌道線から東高須～草津まで	190円	220円
軌道線から草津南～修大協創中高前まで	200円	
軌道線から広電五日市～広電廿日市まで	230円	現行どおり
軌道線から廿日市役所前～阿品東まで	250円	
軌道線から広電阿品・広電宮島口まで	270円	

※PASPY利用の場合、20円引きとする予定。

定期旅客運賃（大人1ヶ月）

		現 行	申 請
軌道線から東高須～草津まで	通勤	7,300 円	8,450 円
	通学	5,130 円	6,210 円
軌道線から草津南～修大協創中高前まで	通勤	7,920 円	8,450 円
	通学	5,640 円	6,210 円
軌道線から広電五日市～広電廿日市まで	通勤	9,110 円	現行どおり
	通学	6,350 円	
軌道線から廿日市市役所前～阿品東まで	通勤	9,750 円	
	通学	6,900 円	
軌道線から広電阿品・広電宮島口まで	通勤	10,530 円	
	通学	7,290 円	

(7) 廃止となる企画定期券

国土交通大臣認可後、廃止となる定期券につきまして中国運輸局への報告を予定しております。

定期券名称		運賃変更日以降	備考
どっちもパス		廃止	
エリアフリーパス	市内電車区間定期+市内電車全線	廃止	広島シティパスへ代替
	市内電車・市内バス全線	廃止	広島シティパスワイドへ代替
	宮島線連絡定期+市内電車全線	継続	
	バス区間定期+市内電車全線	継続	
シルバーパス ※70歳以上からの 適用に変更	市内電車全線	廃止	広島シティパスへ代替
	市内電車・市内バス全線	廃止	広島シティパスワイドへ代替
	電車全線	継続	

2. 鉄軌道部門収支の実績及び推定

(単位：百万円)

項 目	2021 年度 (実績)	2023 年度～2025 年度 (3 年間平均)	
		現 行	申 請
収 入	5,108	5,741	6,051
支 出	6,701	6,599	6,599
差 引	▲1,593	▲858	▲548
収支率	76.2%	87.0%	91.7%

3. 運賃収入内訳

(単位：百万円)

項 目	2021 年度 (実績)	2023 年度～2025 年度 (3 年間平均)	
		現 行	申 請
定期外	3,363	3,892	4,286
定 期	1,057	1,306	1,222
合 計	4,420	5,198	5,508

4. 需要の見通し

(単位：千人)

項目	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (推定)	2023年度 (推定)	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)
定期外	38,678	24,582	25,624	28,654	29,447	30,123	29,531
定期	通勤	12,631	11,437	11,381	12,771	13,317	13,863
	通学	3,379	2,435	2,797	3,509	3,524	3,539
	計	16,010	13,872	14,178	16,280	16,841	17,402
合計	54,688	38,454	39,802	44,934	46,288	47,525	47,728
対前年度比	98.4%	70.3%	103.5%	112.9%	103.0%	102.7%	100.4%

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

項目	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (推定)	2023年度 (推定)	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)
事業費	2,003	1,338	788	4,430	3,378	6,638	3,326

※補助金は含まない

(2) 主要プロジェクトの内容

ア. 広島駅南口広場の再整備等事業

- ・ 目的 広島駅南口広場における交通結節機能の強化、広島市中心部の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区のアクセス強化、循環ルート等による都心全体の回遊性向上や活性化を図ります。
- ・ 効果 JR線との乗り継ぎ利便性及び市内中心部への速達性を向上します。
- ・ 金額 4,732 百万円

イ. 超低床車両の導入

- ・ 目的 車令 50 年以上の車両が 32 両・編成あり、数年後には現在経年 30 年以上の電子制御車両や、経年 20 年以上の超低床車両の代替時期となることから、計画的に車両を代替（2025 年度までに 5 編成）します。
- ・ 効果 バリアフリー化の向上に加え、車両更新による修繕費抑制、車両故障の低減など輸送の安全に資するものになります。
- ・ 金額 2,480 百万円

ウ. 接続車への全扉乗降サービス拡充

- ・ 目的 現在の接続車両の降車場所は運転台と車掌台の 2 ヶ所の扉のみですが、4 ヶ所の全ての扉から降車を可能とすることで、利便性の向上を図ります。
- ・ 効果 IC カード利用のお客様がすべての扉で乗り降りができるようになることで、車内混雑が平準化され、乗降が各扉に分散することにより、快適性や速達性が向上し、混雑時においても降車時の車内移動距離が短縮され、利便性が向上します。
- ・ 金額 43 百万円

6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の減少により、利用実態にあわせた減便ダイヤの実施、また賃上げの未実施及び賞与の削減による人件費の抑止に努めております。また設備投資・修繕工事の繰り延べや、回生電力貯蔵装置の導入による使用電力量の削減を行い効率化努力を図るとともに、経営体質の合理化に徹底的に取り組んでおります。

今後はさらに、わかりやすく使いやすい公共交通の実現に向けて、電車・バスとの共通定期券の拡充や、交通モードの枠を超えた Maas の実現を通して、新たな運賃制度等による新規利用者の掘り起こしを図りたいと考えています。

一方で、社内組織においては、遠隔点呼システムの導入による営業所の集約化、中央運転指令の検討等、すでに一部実施されている旅客の全扉乗降を発展させ、接続車両のワンマン化等の省人力化と生産性向上を図る、あらゆる DX を推進してまいります。

7. 運賃・料金の多様化の内容

【企画乗車券等】

- ・広島シティパス：現行の「広島シティパス（バス 190 円均一エリア内の路線バスと市内電車が並行する区間の相互利用が可能な定期券）」を見直し、バス 220 円均一運賃エリア（新規設定）内の路線バスと市内電車全線が利用できるようになります。事業者や交通モードを問わず、状況に応じた移動手段の選択が可能となり、利便性が向上します。
- ・デジタルフリー乗車券：平日の昼間時間帯や土日祝を対象に、バス 220 円均一運賃エリア（新規設定）内の路線バスと市内電車全線が利用できるデジタルフリー乗車券を新設します。市内中心部の回遊性向上による賑わい創出や、普段路線バスや電車を利用する機会が少ないお客様にも気軽に利用してもらおうきっかけづくりを目指すとともに、一日に複数回路線バスや電車を利用するお客様の負担軽減や移動の利便性向上を図ります。

8. 利用者サービスの向上策

(1) 企画乗車券等の充実

広島シティパスのエリア拡大及びデジタルフリー乗車券の新規導入により、利便性の向上を図ります。

(2) 超低床車両の導入

超低床車両の導入を進め、老朽化した車両を更新しバリアフリー化を進めます。

(3) IC カード全扉乗降車両の拡充

1000 形限定で実施している IC カード全扉乗降車両を接続車両へ拡充し、利便性の向上を図ります。

9. 情報へのアクセスについての情報

(1) 運賃の改定に関するお問い合わせ先

電車企画課 電話 082-242-3551 （営業時間 平日 9:00～18:00）※土日祝休み

(2) 運賃、時刻等に関するお問い合わせ先

広電電車バステレホンセンター（ナビダイヤル）

電話 0570-550700 （営業時間 平日 9:00～17:45）※土日祝休み

(3) 広島電鉄ホームページ

アドレス <https://www.hiroden.co.jp/>